

52ヘルツのクジラたち

キャスト:杉咲花・志尊淳 ほか



男女共同参画についてのプレトークとシネマ上映会を開催しました。

参加者の声



未来に向けて考えていかなければいけない問題を改めて認識することができました。映画を通して、人間は平等に尊い存在であることを考えさせられました。(20代以下)



母親となった今、子ども達が生きやすい社会を作っていくのが私達の役目だと強く感じています。(40代)

男女共同参画推進活動者表彰

受賞者 中根 敬子(なかね けいこ)さん

男女共同参画社会づくりの推進に顕著な功績を取られた方に贈られる表彰です。

中根さんは「さんかく21・安城」では女性目線の避難所運営の検討や防災に関する啓発活動などを行い、「やはぎ会」では地域で活動する女性のネットワークづくりに貢献するなど、男女共同参画の推進や女性の社会参画推進に尽力されました。

受賞者コメント

既成概念にとらわれず、声を上げて活動してきた多くの女性の一人として、今回受賞したことを誇りに思います。

道半ばのジェンダー平等。この道を進む皆さまが輝かれますようにと願わずにはいられません。



共同参画

地域で「やりたい」をみつけよう！ 部活動に代わる「地域の活動」

部活動の地域移行について / 男女共同参画月間イベント開催
男女共同参画推進活動者表彰 / エンパワーメント講座を終えて



地元サッカークラブ練習風景 (P2~3)



エンパワーメント講座の様子 (P4)



安城市エンパワーメント講座 自分カアアップセミナー

受講者の声



自分の可能性を広げたいと思い受講しました。過去・現在の自分と向き合い、価値観を可視化することで、今後のキャリアにおいて大切にしたいものが見えてきました。また、ワークを通して受講生の方々と仲良くなり、コミュニティが広がりました。今後お互いの近況や情報を共有しながら高め合っていきたいです。



エンパワーメント講座とは？

主婦&子育てママの声から生まれた、楽しく自分を深める講座。新しいことをはじめめるきっかけが欲しい人、「私」自身の新たな発見をしたい人におすすめです。



エンパワーメント講座
詳細はコチラ ▶▶▶

受講者の声



子育てがひと段落し、社会復帰への準備運動として新しいことを始めるきっかけになればいいなと思い受講を決めました。講座(心理学の内容も含む)での他の受講生の方とのグループワークを通して視野や考え方が広がり、自分を見つめる良い機会になりました。

編集後記

今号を読んで、少しでも部活動の地域移行への不安が解消され、認識を深めることにつながれば幸いです。部活動から自然と学んだ人との接し方、努力が実を結んだ時の喜び、向上心など、人を成長させる要素は中学校の部活動が地域に移行しても、残ってほしいと願うばかりです。

企画・編集:エンパワーメント講座修了生
榊原直子・柴田京子・和久利和
発行:安城市
問合せ先 安城市役所市民生活部市民協働課
〒446-8501 愛知県安城市桜町18-23
Tel(0566)71-2218 Fax(0566)72-3741
メール kyodo@city.anjo.lg.jp

部活動の地域移行について

中学生の頃、多くの方が経験した部活動。いろいろな思い出があると思います。学校で当たり前にあった部活動のあり方が、今、見直されているのをご存じですか？ 地域移行後も子どもたちが「やりたい」ことができるよう、一緒に考えましょう。

部活動の地域移行とは

これまで学校の教員が担ってきた部活動の指導を、地域のクラブや団体に移行することです。この背景には、少子化による部員数確保の難しさや教員の長時間労働などの課題があり、働き方改革と併せ、主に中学校で進められています。

安城市でも令和5年度から休日の「部活動」を少しずつ「地域の活動*」に移行しています！

* 地域の活動には、公民館で活動する団体、中学生日曜教室、中学生が参加できる講座、地域のスポーツ・文化活動団体などが含まれます。自分のやりたい活動を選んで参加することができ、逆に、どの活動にも参加しないこともできます。

男女共同参画の視点で地域移行を考えると...

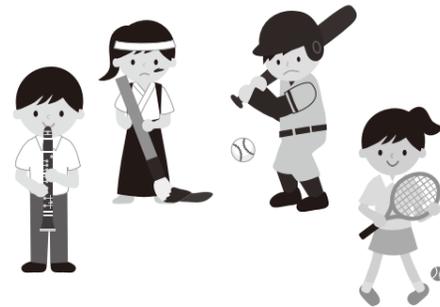
▷ 良い点

- ・生徒の選択肢の増加 →自分らしい生き方の実現
- ・教員の負担軽減 →ワーク・ライフ・バランスの充実
- ・地域の活性化 →地域での活躍の場の増加、指導者のやりがい・生きがいの創出

▶ 新たな課題

- ・指導者の確保 →男女問わず多様な世代の地域活動への参画が求められる
- ・活動費用や送迎等の各家庭の負担増加 →家庭内・地域（クラブ）内での協力が必要になる

安城市の部活動の地域移行について
詳細はコチラ ▶



安城市で既に中学生が活動しているサッカークラブにインタビュー！ / 地域のクラブ活動について教えてください！ 休日の部活動がなくなっても大丈夫？

とがの FC モスペリオ安城の梅野コーチ、キャプテンの鈴木選手、クラブの代表をされている保護者の方にお話を伺いました。

FC Mosuperio Anjo

— エフシー モスペリオ 安城 —

発足：約7年前。
運営：コーチ・保護者の共同運営。
コーチはボランティアで指導している。
対象：市内在住の中学生。(中級者・上級者ですが、初心者も活躍中！)
活動場所：安城市総合運動公園多目的グラウンド・陸上競技場など。
活動時間：毎週火・金曜日夜。土日や長期休みに試合参加も有り。



クラブについて教えてください！

コーチ：安城西中学校サッカー部の保護者が中心となって、もっと練習がしたい子ども達を応援しようという思いから発足されたと聞いています。クラブの名前の「モスペリオ」は、てっぺん、高みを目指すという意味の造語です。地元安城のサッカーを盛り上げたいという思いで、選手、コーチ、保護者の三位一体で協力し活動しています。



梅野コーチ

鈴木選手（キャプテン）

クラブ活動の良いところは？

コーチ：サッカーがしたい子どもたちの練習時間を確保できる場所です。中学校の部活動は、日没までに帰宅するというルールがあり、冬場は1日15分しか練習できず、練習時間が不足しがちです。

保護者：部活動が減ることは、中学生の活動の機会が減ることに繋がるので残念ですが、先輩後輩関係ないコミュニケーションや挨拶、礼儀を身につけ、人間性を育む様々な経験ができるのは、クラブ活動の良いところです。

選手：部活動以外で、やる気のある仲間とコミュニケーションをとる機会も増え、切磋琢磨してお互いを高め合うことができていると感じます。

クラブや部活動で大変なことはありますか？

保護者：仕事や他の兄弟の送迎と重なってしまうと、クラブの送迎が難しいことがあります。そんな時は、夫（家族）や同じチームの保護者の方と協力しあっています。

コーチ：遠くの試合だと、保護者の方には送迎のご負担をおかけしますが、チームでバックアップできたらいいなと思っています。保護者の都合で子どもが参加できないことが無いように、なるべく保護者の方々に助け合って調整して欲しいと思っています。

また、コーチは仕事とクラブの指導の両立に苦労があると思われるかもしれませんが、僕は逆にこのクラブ活動があるから、なるべく早く終わるよう、以前よりも効率的に仕事ができます。

インタビューを振り返り...

部活動の地域移行に向け、地域のクラブに通う親子とクラブの指導者が、仕事と子育て、勉強と部活動やクラブ活動、仕事や家庭とクラブをどのように両立されているのかをお伝えすることで、ワーク・ライフ・バランスの参考になればと思い、インタビューをさせていただきました。

心が大きく成長する中学生の時期に、クラブ活動を通して、様々な感情を仲間と共に経験・共有し、乗り越えていくことは、とても価値があることだと思います。より多くの中学生がクラブ活動に参加できるような環境を、安城市全体で整えていけると良いと思いました。

保護者の方は、お子さんのやりたい気持ちを尊重し、中学生時代を有意義に過ごせるよう、地域の活動に関する情報収集などをサポートしていけたらいいですね。

選手：練習場所は市内様々ですが、コーチや保護者の方が、広いグラウンドやきれいな芝生を用意してくださるので、質の良い練習ができ、あまり大変だとは思いません。また、テスト週間中は、部活動もクラブもなくなるので、勉強もしっかりできています。

今後、中学校の部活動が平日だけになったら、部活動にしか入っていない子は練習時間が少なくなるので、思うように活動できず、部活動を辞めてしまう子どもでてるのかなと心配です。



今後の地域移行について一言！

保護者：クラブとしては、現在、多くの中学生が利用できるように、西中学区を中心にPRしたり、市のHPやクラブのSNSで情報発信したりしています。

部活動の時間が少なくなることについての不安を少しでも解消するために、お子さんが小学生の頃から情報を受け取れるように発信していきたいです。

まとめ

部活動の時間が少なくなるのは寂しい。でも「協力」すればきっと大丈夫！

